



三重病院

# ニュースレター

news letter vol.255

- 01 薬剤師の仕事って…!?  
外来からのお知らせ
- 02 臨床研究部からのお便り—第30回—  
医療的ケア児・者コーディネーター養成研修を開催して
- 03 通所支援事業のひとコマ  
異動のごあいさつ  
やまばとギャラリー情報コーナー
- 04 医療安全便り vol.16  
病院からのご願い／外来診察のご案内

## 薬剤師の仕事って…!?

昨今、病院薬剤師をテーマにしたドラマが放送されるなど、少しずつ薬剤師の仕事が認知されつつありますが、まだその具体的な内容はわかりにくい点が多いかと思います。そこで今回は病院薬剤師にできることをご紹介したいと思います。

病院薬剤師の仕事として大きく分けて5つの業務；  
①調剤業務、②製剤業務、③病棟業務、④DI業務、⑤  
治験業務があります。①の調剤業務は多くの方が想像  
する薬剤師の仕事に近いと思いますが、医師の処方  
に基づき、薬剤を用意します。年齢や体重から用法用量  
が適切かどうか、処方されている薬剤同士の相互作用  
がないかをチェックしています。さらに病院ではカル  
テから血液検査値などを確認し、より安全に薬剤を患  
者さんへお渡しできるよう努めています。②の製剤業  
務は、抗がん剤などの無菌調製や、既製品では扱われ  
ていないが治療に必要な薬剤の作製（院内製剤とい  
います）を行います。③の病棟業務については近年、薬  
剤師が病棟常駐する病院が増加しており、活躍の場と  
して広がっています。薬剤師自らがベッドサイドに赴  
き、患者の状態や残薬を確認し、ときには処方提案を  
行うことでより患者に寄り添った医療を提供するこ  
とができます。また処方されている薬剤をしっかり把握  
することで、副作用の早期発見や薬剤同士の相互作  
用、注射薬の配合変化を未然に防ぐことも重要な役割  
です。④のDIとはDrug Informationの略で、薬剤は  
日々新しい情報が追加されるため常に最新の情報にア  
クセスする必要があります。新規発売の薬剤だけでなく、  
既存の薬剤の使用法や副作用が追加された場合  
の情報把握や、流通などのトラブルで薬剤の在庫が品  
薄になることが予測された場合に医療が滞らないよう  
対応を行っています。⑤の治験業務では臨床試験とい  
われる開発中の薬剤の保管管理や、治験参加患者や治  
験依頼会社とのコーディネートを行います。開発前の  
薬剤は既存の薬剤と比べ有用性が高いかが重要である  
ため、既存の薬に対して幅広く知識を持っている必要  
があります。

病院薬剤師は以上のような仕事を行っていますが、  
当院はさらに総合生医医療機関であることから、小児  
の治療に詳しい知識が必要になります。小児では体の  
大きさや肝臓・腎臓の機能が大人とは異なることか  
ら、年齢に応じて適切な用法・用量、副作用などに注  
意が必要になります。小児薬物療法認定薬剤師という  
制度があり、小児の薬物治療について専門知識を学  
び、他の病院での実習を経た後  
に確認試験で合格した薬剤師に  
対して資格が与えられます。当  
院では2名の認定薬剤師が在籍  
しております。治療法につ  
いての知識だけでなく、粉薬と  
食べ物・飲み物との組み合  
わせでの注意点や、粉薬が  
苦手な小児への内服方法のアド  
バイスなどを行うことができま  
す。小児・大人に関わらず薬で  
の治療について何か不明な点  
があれば当院病院薬剤師へご相談  
ください。

(調剤主任 加藤 万理)



2020  
11月

### 外来からのお知らせ

休 診	口腔外科 11/20(金)	代 診	小児外科 11/24(火)…塚本 ↓ 中澤
	耳鼻咽喉科 11/30(月)		